

## 第6回検討委員会要旨

平成19年6月28日  
AM10時～12時  
場所：浪切ホール 研修室1

### 主な内容

事務局より、18年度の検討委員会のまとめとして確認された「開発の方向性と開発の可能性」に基づく土地利用ゾーニング検討を、各条件（地形・基盤施設整備状況・現況土地利用・その他社会条件）と評価基準をそれぞれ示し、岸和田市丘陵地区整備計画検討図を提示した。

委員からは主な意見として、

「農業に適する地区があまりにも大きくて、むしろ一つ前のところで、住宅地・農耕地に転換可能な地区という形で残しておいた方が、今後の検討の中で具体的に詰めていくという印象を持つような資料にした方が良いと思う。」「近隣の集落であるとか、蜻蛉池公園もありますし、自然再生区域もあるし、このエリアの隣接している現状との融合などがどこかで評価されるべきだと思う。」「山直南小学校の周辺をもう少し住宅地に増やすというか、この地域は市街化調整区域で、人口があまり伸びてないということもありますので。この小学校は2クラスぐらいでその半分が山滝中学校へ、半分は山直中学校と別れてしまう。だからこの機会に、小中一貫教育にしてやってもらったらいいと思います。」「これから経済性の検討とか、事業費がどうかとか、売却の話とか、これから徐々に具体化されるんだと思うんですけど、売却用地が増えれば、それだけ逆に地権者の皆さんのリスクが高まる。」「企業としたら、道路網の発展してるところがいいんですけど、それを小さくして、住宅やったって、いまの住む人は駅に近いところしか住まんです。だからここを住宅にやったって、そう埋まらんと思います。企業が張りついてこそ住宅も必要になると思います。」「将来30年ぐらい先のことを考えたら、農業というのも重要になってきますね。」等その他。

※ 要約しています。詳細については議事録本文をご覧ください。